

風炉・濃茶・逆勝手逆点前（蓋置三座替り）

- \* ノーマルの逆勝手と同じく、向かって風炉を左、水指を右に配する
- \* 薄茶であれば、本勝手と逆に、左手に茶器・右手に茶碗を持って入る（ノーマル版参照）  
ただし薄茶でこの三座替りの点前をすると、蓋置の場所が三回変わる意味がなくなるので、推奨しない。

※点前手順中、太字は通常の平点前と違う箇所

《点前手順》

茶道口にて挨拶

（水指前に茶入を飾っておき、仕組んだ茶碗を持って入る）

右手で茶碗を右膝前あたりに置く

右手で茶入を左に移す

右手で茶碗を茶入の右に移す

（茶入の左端と茶碗の右端の中央が水指の中心通りになるように）

建水を取りに下がる

（逆回りに回って下がる）

柄杓蓋置を仕組んだ建水を右手で持って入り、右膝右あたりに置く

柄杓を右手で取って持ち上げ、左手で蓋置を取り出す

柄杓を元の通りに置いて左手の蓋置を右手に持ち替える

右膝上あたりで蓋置の正面を確認

右手で蓋置を水指と風炉のあいだ、水指の蓋摘みよりも少し前あたりに置く

蓋置を置いたら客へ挨拶

右手で茶碗を取って居前に置く

左手で茶入を取って居前、茶碗の前に置く

茶入の仕覆を解く

茶入を出し、仕覆を整えて建水の後方に置く  
(打ち留めは勝手付方向)

帛紗を右手で取ってさばき、茶入を清める

茶入を風炉の敷板の左前に置く

再度帛紗を捌き、茶杓を清める

茶杓を茶入の蓋に掛ける

茶筌を取り、綴じ目を見て、茶入の右、茶入から少し上がったところに置く

茶碗を少し手前に引く

茶巾を水指の蓋上に置く（塗蓋ならば茶巾を置く前に帛紗で蓋上を拭く）

建水から柄杓を取って、左手の帛紗と持ち替え

茶杓を拭いて逆折になっている帛紗をさっと草のかたちに戻す

帛紗で釜の蓋を先ず閉め、帛紗を打ち返して勝手付に向かって釜の蓋上を清める

帛紗をまた打ち返して釜の蓋をあけ、点前座中央の蓋置に置く

帛紗を右膝上で広げて腰に付ける

柄杓を持ち直し、湯を一杓汲み、柄杓を構えて釜の蓋を閉める

蓋置を取って水指の前に移す

柄杓を蓋置に真っ直ぐ引く

茶筌打ちを三回おこない、さっと茶筌を振る

茶碗を取って、逆廻しにさっと回す

右手で茶碗の湯を捨て、茶碗を左手に持たせて茶巾を右手で取り、  
茶巾を茶碗のなかに入れる

茶巾をひろげ、茶碗の外・内を拭く

茶碗を置いて、茶巾を畳み直し、茶巾を水指蓋上に置く

手の湿りを取る

右手で茶杓、左手で茶入を取って、茶杓を握り込んで蓋をあけ、茶碗の右か斜め下に置く

適量の茶を汲み出し（一人分二杓ほど）、茶杓を茶碗に渡し掛ける

帛紗を取って、茶入の口をさっと清め、帛紗はすぐに腰に納める

茶入の蓋をして、茶入を元の位置に置く

茶杓を取って持ち直し、茶碗のなかの茶をよくこなし、茶碗の縁で茶杓を打って茶杓についた茶を落とし、左手を添えて持ち直して茶入の蓋に元のように掛ける

柄杓を取って左手に持たせ、右手で帛紗を片手捌きし、帛紗で釜の蓋を取って蓋置に置き、帛紗を腰に納める

湯を汲み、適量を茶碗に入れ、残りの湯を戻して柄杓を釜に掛ける

茶筌を取って茶を点て、茶筌を元のところに戻す

茶碗を左横に仮置きして振り向く

茶の点て具合を確認し、茶碗を客に向けて出す

出帛紗（替和巾）を取り出し、◆の形に客に向けて茶碗の下座に置く

服加減の挨拶

服加減の挨拶後、中仕舞い

柄杓を取って左手に移し、釜の蓋をする

**柄杓を蓋置に真っ直ぐに引く**

出帛紗（替和巾）が戻ったら取り込んで懷中し、中仕舞いを解く

柄杓を取って左手に持ち替え、帛紗を片手捌きして釜の蓋をあけ、蓋置に釜の蓋を置き、帛紗を腰に納める

柄杓を釜に掛け、茶巾を釜の蓋上に移す

**水指の蓋をあける**

茶碗が戻ったら客付に振り向き、茶碗を取り込んで茶碗内を確認、次いで茶の園香を聞く

風炉に向かい、茶碗を居前に置く

客からの礼を受けて一礼

柄杓を取り、一杓湯を汲んで、茶碗に入れ、柄杓を釜に掛け、茶碗を取って、よく回して茶を落とす

湯を捨てて、茶碗を居前に置く

後ほど薄茶を差し上げる旨の挨拶

柄杓を取って左手を添えて持ち直し、水を一杓汲んで茶碗に入れ、柄杓を釜に掛け、茶筴を取って茶碗に入れ、茶筴打ちを一度して茶筴をすすぐ

茶筌を元の通りに置き、茶碗を取って水を捨て、茶碗を居前に置く

茶巾を取って茶碗に仕込み、茶筌を取って、左手を添えて持ち直し、綴じ目を上にして茶碗に仕込む

帛紗を取って捌き、茶杓を清め、茶杓を茶碗にわたして掛け、帛紗を腰に納める

茶碗を右手で点前座中央少し右に移し、次に茶入を左手で茶碗の左に置き付ける  
(要は茶碗と茶入を点前座中央に置き付ける)

柄杓を取って、合を水指の前の縁に仰向けに掛けて持ち直し、適宜に水を汲んで釜に入れ、湯返しをする

釜の前の縁に柄杓の合を掛けて持ち直し、柄杓を左手に持ち替えて構え、右手で釜の蓋をする

右手で蓋置を勝手付のきわ(建水の前・茶碗の横筋に近いあたり)に移す

柄杓の合をその蓋置の上に置き、  
建水を引いて、その建水の縁に柄杓の柄を掛ける

水指の蓋を取り、水指の蓋を閉める

客からの拝見の所望を受ける

茶入を左手で取り、右手で持ち替えて左手にのせ、客付に振り向き、右手で居前に置く

右手で茶碗を点前座中央に移す

帛紗を行に捌いて、茶入を点前の始めと同じ方法で清め、右手の帛紗と左手の茶入を取り替え、茶入を客を方に向けて出す

帛紗を袂に入れる

茶杓を客に向け、茶入の下座に置いて出す

茶入の仕覆を出す

(基本は茶入の勝手付側の隣に置く)

柄杓を右手で取り、蓋置を左手で取って右手に持たせ、  
そのまま勝手付に居座って、左手で建水を持って立ち上がって水屋に下がる

再度出て、茶碗を取り込む

運び水指であれば水指を取り込み、茶道口を閉める

道具が戻ったら茶道口を開けて出、茶杓・仕覆・茶入と、それぞれ右手で取る

客から一礼があるので、道具を持ったままお辞儀をする

茶道口にて茶入・仕覆・茶杓を置いて挨拶